

# 日本計量新報

計測と科学  
毎週日曜発行  
日本計量新報社  
東京都江東区亀戸7丁目62-16  
〒136-0071 TEL 03-5628-7070  
FAX 03-5628-7071  
https://www.keiryu-keisoku.co.jp/  
振替口座 00140-5-12935  
購読料年間 27,500円(消費税込み)

定量計量専用機  
**Pack NAVI**  
速くハカル、  
楽にツメル



**Yamato**  
大和製衡株式会社 tel:078-918-6577  
http://www.yamato-scale.co.jp/

## 島津製作所、京都大学、Symbiobeなど 二酸化炭素固定化実証実験に参画 CO<sub>2</sub>の削減、カーボンニュートラルに貢献

島津製作所、京都大学、Symbiobeなどは共同で、2021年度JST共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)「ゼロカーボンバイオ産業創出による資源循環拠点」事業に参画する。

■海洋性光合成細菌を活用  
本事業は、大気中の二酸化炭素や窒素を固定する海洋性光合成細菌を活用して、温室効果ガスを削減しながら様々な製品や有用物質の生産を目指す。具体的にはバイオプラスチック、タンパク質などのバイオ高分子の生産や、その過程で生じる光合成代謝産物を利用した農業用窒素肥料、水産養殖用飼料の開発を進める。

■京都大学桂キャンパス  
海洋性光合成細菌培養デモプラント完成  
海洋性光合成細菌を利用して、効率的に二酸化炭素や窒素の固定を行い、生産物の原料をより多く合成するためには、大規模な培養が必要であり、本事業で、京都大学桂キャンパス内に海洋性光合成細菌培養デモプラント(デモプラント)を設け、稼働を開始した。これまで



¥33,000(税抜)

での実験では、培養容量の上限は1000Lだったが、今回のデモプラントでは大容量(4000L)の培養に取り組む。

このデモプラントにより、海洋性光合成細菌の大量培養が可能となり、1月に設立されたベン

チャー企業。本事業では、「デモプラントにおける光合成細菌の培養条件最適化」と、「デモプラント稼働後の運転・モニタリング」を、京都大学による技術指導のもと担当する。

■島津は、二酸化炭素や窒素の固定化定量データの計測並びに収集プロセス構築  
島津製作所は、デモプラントにおける二酸化炭素や窒素の固定化定量データの計測並びに収集プロセス構築を担当する。計測は、全有機体炭素計(TOC計)やガスクロマトグラフ(GC)などの分析機器を用いる予定。

3376・3377号  
を合併号とし、4月10日  
付で発行します。

### 経済産業省

## JISの制定と改正3月分

経済産業省は2022年3月22日、2022年3月分の日本産業規格(JIS)を制定・改正を公表した。

2、一般社団法人日本計量振興協会、国際標準課  
改正された日本産業規格(同前)

1、一般社団法人日本計

4月のIDとPW  
5147、MS99XSFV

### 「量及び単位」

制定・改正JISには、日本計量振興協会が原案作成団体となっている「量及び単位」が含まれている。(「量及び単位」の一覧は後述)

制定された日本産業規格(規格名称、規格番号、原案作成団体、問合せの順)  
▽量及び単位―第2部…  
数学記号、Z8000―  
興協会、国際標準課

今週の主な記事  
島津(ほか)二酸化炭素固定化実証実験参画、JIS制定・改正計量機関・団体人事異動(1) 2021年度経産大臣表彰・同局長表彰(7) 第20回全国計量士大会開催(2) 特定計量器検定検査規則改正ほか 重要文化財に指定の原器たち(3) NMS研究会座談会(7) 寄稿：佐藤克哉、江尻義博 社説「計量行政は社会に共通した資本財を構成する」 JEMIMA講座 A&D製衡、計量計測 技術センター会長、健康経営度調査ほか

▽量及び単位―第5部…  
熱力学、Z8000―5、  
一般社団法人日本計量振興協会、国際標準課  
▽量及び単位―第7部…  
光及び放射、Z8000―  
17、一般社団法人日本計量振興協会、国際標準課  
▽量及び単位―第8部…  
空間及び時間、Z8000―  
0―3、一般社団法人日本計量振興協会、国際標準課  
▽量及び単位―第4部…  
力学、Z8000―4、  
一般社団法人日本計量振興協会、国際標準課  
▽量及び単位―第9部…  
物理化学及び分子物理学、Z8000―9、  
一般社団法人日本計量振興協会、国際標準課

**SHIMADZU**  
Excellence in Science

分析天びん  
Advanced Performance UniBloc Balances  
**AP W-AD Series** **NEW**

高速応答、高安定性を実現  
身近になったオートドアでより快適なひょう量作業が可能に!

01 イオナイザ、可動式風防内部プレート<sup>\*1</sup>による  
静電気・対流の影響を低減し、安定した信頼性の高い計量  
<sup>\*1</sup> W-ADシリーズ(セミマイクロ機種のみ)

02 タッチレスセンサとスマートオートドアによる  
コロナ感染リスク・コンタミリスク低減に優れた作業環境を提供

03 LabSolutions Balanceで  
計量データのデータインテグリティ対応



※この写真はAP225W-ADです。

株式会社 島津製作所 分析計測事業部

AP W-ADシリーズの特徴を、わかりやすくムービーで解説  
https://www.an.shimadzu.co.jp/balance/products/p01/ap\_d.htm

